

令和6年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属：危機管理学部 危機管理学科

資格：教授

氏名：中村 良

<p>研究課題名</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「公正競争の確保と企業・法人におけるガバナンス・コンプライアンス体制の研究」</li> <li>2 「主権者教育・消費者教育の実践方法に関する研究」</li> <li>3 「地域社会の危機管理に関する研究」</li> </ol>
<p>研究目的及び 研究概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「公正競争の確保と企業におけるガバナンス・コンプライアンス体制の研究」 これまで公正競争の確保のための法規制（特に独占禁止法）を中心に研究してきた。これまで研究成果の一部（独占禁止法の執行手段の一つである課徴金に関連する法改正について、その概要と問題点）を日本政治法律学会において報告した。なお、コンプライアンス研究成果による地域項として学校における危機管理への助言も行う。</li> <li>2 「主権者教育・消費者教育の実践方法に関する研究」 効果的な消費者保護について「行動経済学」を用いた「事後」対応ではない、消費者の選択による「事前」対応による効果的な消費者保護制度の研究を進めている。</li> <li>3 「地域社会の危機管理に関する研究」 「学校における危機管理研究」を実務家、専門家と立ち上げ「いじめ問題」を教育問題として取り扱うのではなく「学校の危機管理」として位置づけ、学校現場における「いじめ対策（予防と対応）」について研究を進めている。</li> </ol>
<p>研究実績の概要</p> <p>研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「公正競争の確保と企業におけるガバナンス・コンプライアンス体制の研究」 2024年度においては、コンプライアンス研究関連資料の収集を行った。</li> <li>2 「主権者教育・消費者教育の実践方法に関する研究」 2024年度は、行動経済学関連の資料収集を中心に進めてきた。</li> <li>3 「地域社会の危機管理に関する研究」 「学校における危機管理研究」を2023年度において、「いじめ問題」対応の専門家である仲野繁先生、元名古屋市教育委員会に所属されていたスクールカウンセラー高原晋一先生とともに研究会を主催してきた（毎月開催）。、「いじめ問題」を教育問題として取り扱うのではなく「学校の危機管理」として位置づけ、文部科学省・家庭子ども庁、教育委員会、そして学校現場における「いじめ対策（要望と対応）」について研究を進めてきた。 2024年4月22日日本教育新聞「論点解説 教育時事」において学校におけるガイドラインの問題点について論じた (<a href="https://www.kyoiku-press.com/post-series/series-277224/">https://www.kyoiku-press.com/post-series/series-277224/</a>) 2024年8月2日仲野繁氏と共著で文部科学省「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」改定案に対するパブリックコメントを提出した。</li> </ol>